

合格

参加候補者調査記録

ふりがな	かざはり みさと
氏名	風張 美聡
生年月日	2006年8月11日(17歳)
願い	将棋の対局が不利なとき、体調不良になってしまう体質を治したい

記録

風張美聡は、プロ棋士を目指す奨励会員である。
地元ではそこそこに名の知れた存在であり、住民からは温かい目で活動を見守られている。
軽く聞きこんでみた限りでも、その評判はすこぶる良い。
礼儀正しく、品があり、まさに大和撫子。これからは楽しみだ。
凛と立つ着物少女の姿は、人々の心を惹きつけて離さないということだろう。

地元誌のインタビューによれば、風張はかつて、引っ込み思案で病弱な子供だったという。
同年代の友人は少なく、工場を経営する両親はいつも忙しかった。
代わりに、隠居暮らしをしていた祖父が、どんなときも彼女を見守り、あらゆることを教えてくれた。
将棋もそのうちの一つで、最初は、将棋崩しから。
やがて祖父相手に劣らない勝負ができるようになると、祖父の通う将棋センターで頭角を表しだした。

これについて、風張は、「何もできないと思っていた自分に唯一見つかった特技」と記事内で語っていた。そこからは将棋にのめりこみ、小学6年生のときには、地元を訪れた棋士に声をかけ、奨励会に入会。順調に昇段していくが、初段に上がった頃から、彼女の生活は変わり始めたようだ。

まず、プロ入りを望む周囲からの期待の増幅。そして、最愛の祖父の入院。
風張は、祖父がいないあいだも将棋に打ち込み続けたが、その間、次第に在りようを変えていく。
顕著なのは、姿。祖母の遺品である着物をまとい、髪も長く伸ばすようになった。
表情は涼やかに、笑顔は控えめに。
周囲への態度もまるで違う。幼い頃の彼女を知る人は、口を揃えて「あの子は無邪気な甘えん坊だった」と語る。しかし、現在の風張にそんな気配はなく、ただ凛としておとなびた優等生がいるだけだ。

各メディアでの発言を鑑みるに、これらの変化の原因は、周囲からの過度な干渉、アドバイスにあったのではないだろうか。

「未来の街のスターとして、ふさわしい少女をつくろう」

彼らがそう思ったか知れないが、素直で頼りない風張は、おとなたちのリクエストに健気に答え続け……、そして自分を失くした。

風張の両親は、とある記事のコラムにて、「甘えん坊で引っ込み思案だった娘が、将棋のおかげで成長した」と喜ばしげに語っていた。二人は非常に穏やかな気質で、風張との親子関係も実に良好なようだったが、娘が抱えた歪みには気づくことはなかったようだ。

一番の理解者である祖父がそばにさえいれば、風張もこうはならなかったのかもしれない。

しかし、ここからは多く私の推測を含むが……、

風張は、人々のなかで膨らむ「理想の風張美聡像」と、「早く結果を出さなければ」という気持ちに追い立てられていく。

祖父が亡くなったのは、2段への昇段が期待されていた、非常に大事な時期のことだった。

精神的な支柱を失い、風張がどんな想いでその行為に走ったかわからない。

だが、事実として、彼女は昇段をかけた重要な対局で八百長をした。

相手の男は、当時26歳。奨励会を退会する年齢だった。

彼自身もこのときのことには複雑な想いがあったのか、軽く揺さぶったところうまく話を聞き出すことができた。

風張は、対局直前の彼の前に現れ、金銭を渡す代わりに勝ちを譲ってほしいと持ちかけた。

男は、幼いときからずっと将棋にだけ打ち込んできた。

しかし、もはやプロになる道は断たれたも同然。今後の生活に大きな不安と恐怖を抱えてもいた。

そんなときにちらつかされた金は、「せめて最後までやりきろう」と考えていた彼の心を揺るがせた。

そして、長年抱いてきた夢の終わりを、彼は自ら汚し、去った。

風張の今について、男はこう語った。

「何度忘れようとしても、不意にあのときが頭によぎる。

あのとき、飲まなければよかった。

あのときはおかしかったんだと。

何をどう言ったところで、選んだのは自分だ。

でも、何度も何度も考えてしまう。あのとき、彼女に出会わなければ。あんな話をされなければ。

そうすれば、人生をかけた自分の将棋を、汚さずに済んだ。裏切らずに済んだ。

将棋は、おれのすべてで、唯一の誇りだったのに」

男は、八百長からしばらくののち、風張に金銭を要求するようになった。

金が目的ではない。風張が周囲に愛され、期待され、自分になかった輝かしい道を歩いていくことが、耐えられなかった。邪魔をしたかったのだと。

風張の願いは、「対局が不利になったとき、体調不良になってしまう体質を治したい」というものだった。たしかに、2段に上がってからの風張は、対局中に席を外したり、蒼ざめて倒れたりといった不調を見せることが増えていた。

しかし、すべての始まりは、この八百長にあるのだろう。

風張の真の願いは、彼女が参加者に選ばれた際に詳しく聞いてみたいと思う。

以上、調査報告である。

風張美聡は、シラノにふさわしい聡明さを持ち、また、将棋に人生をかけていることから、願いの強さも申し分ないと思われる。参加者として推薦したい。

【追記】

風張の本当の願いは、「八百長をした事実を抹消したい」のようだ。

つまり、「八百長相手を殺してほしい」……ということかと思ったが、どうやらそうではない。

魔法のように、綺麗さっぱり事実だけが消えてくれれば……。それが心からの願いらしい。

普通の振る舞いからかけはなれた、妙にあどけない願い。しかし、これこそが、風張美聡の隠された本質といえるのかもしれない。